

世田谷記念病院の ご案内

About Setagaya Memorial Hospital



医療法人 平成博愛会

世田谷記念病院
SETAGAYA MEMORIAL HOSPITAL



平成医療福祉グループ Mission

じぶんを生きるを みんなのものに



私たちの使命は、患者さん・利用者さんのQOLを追求すること。
つまり、病気や障がいがありながらも、自分らしく生きられる
ことの実現です。治療や障がい軽減に努める時も、この視
点を大切にします。一人ひとりが自分らしく生きるためには何
が必要なのか。私たちは、考え、取り組み続けます。



最新情報や
グループの取り組みに
ついてはこちらから

平成医療福祉グループ



世田谷記念病院 院長

しみず えいじ
清水 英治

当院は、急性期病院での治療終了後、ご自宅や施設で生活するみなさんの「在宅生活を支える」という目的のため、2012年に設立された病院です。広く患者さんを受け入れる「地域包括ケア病棟」と、積極的な治療とリハビリテーションと適切な治療で在宅復帰を目指す「回復期リハビリテーション病棟」を備え、地域の患者さんの在宅復帰をサポートいたします。

地域医療構想では病院機能を、高度急性期・急性期・回復期・慢性期に区分し、介護とともに地域包括ケアシステム構築の方向に進んでいます。当院でも急性期と慢性期の橋渡しのみならず、リハビリテーションを通じて医療・介護・在宅の橋渡しを円滑に進めることが責務であると考えています。そのため、入院治療のほかに、訪問診療を始め各種訪問系サービスも拡充させ、退院後も途切れることのないサポートで、地域の患者さんが安心できる在宅生活を送れるよう支えてまいります。

医療の質の向上と、チーム医療の強化と実践を目指して努力し、グループのミッションである「じぶんを生きるをみんなのものに」を実践してまいります。

二つの
病棟でサポート
します！

病棟のご紹介

患者さんをスムーズに受け入れ、積極的なリハビリテーションと治療で、
早期の在宅復帰をサポートいたします。



回復期リハビリテーション病棟

病床数：107床

リハビリテーションに特化した専門病棟です

脳血管疾患や骨折の急性期治療が終了した患者さんを受け入れ、多職種によるチームで質の高いリハビリテーションを提供し、心身の回復を図り早期の在宅復帰を目指します。退院後には関連施設や地域病院などと連携し、復帰後の生活をサポートします。1日のすべてがリハビリテーションにつながるような生活を提供することが特長です。



地域包括ケア病棟

病床数：39床

在宅復帰を目指す方の治療、支援を行います

ご自宅や施設で具合が悪くなった方、急性期病院にて症状が安定したものの退院後の生活が不安な方や、集中してリハビリテーションを受けたい方など、疾患を問わず、在宅復帰を目指す方であればどなたでも受け入れの対象です。疾患に対する治療はもちろん、在宅復帰を支援するためのリハビリテーションを提供します。

訪問サービス

こんな方が対象です

- ✓ 通院することが難しい方
- ✓ 自宅でリハビリテーションを受けたい方
- ✓ 退院後の食生活に不安がある方

訪問診療

住み慣れた環境で
安心した療養生活を送るために

退院後、自宅での生活に不安がある方、さまざまな事情で通院が困難な方などに向け、医師がご自宅へ定期的に訪問し、住み慣れた環境で不安なく療養生活を送っていただけるよう、支援いたします。看護師、リハビリスタッフ、管理栄養士とも連携を取りながら、一人ひとりに応じた医療サービスを提供します。

訪問リハビリテーション

自分らしい在宅生活を送るための
住環境に合わせたリハビリテーション

理学療法士・作業療法士・言語聴覚士などが利用者さんのご自宅を訪問し、リハビリテーションを提供するサービスです。身体機能面の維持・回復はもちろん、生活しやすい住宅環境の設定や介助者への介助ポイントのアドバイスを実施します。利用者さんが住み慣れた環境で、自分らしく生活ができるよう、専門スタッフがサポートいたします。

訪問栄養指導

食生活の不安について
専門的な視点からサポート

管理栄養士がご自宅へ訪問し、一人ひとりに合った栄養管理や食事指導を実践します。嚥下障害がある方や、食事療法を必要とする疾患をお持ちの方、食事を摂れない、もしくは摂り過ぎてしまう方などに、食事や食形態の面からアドバイスを行います。高齢者の方が特に陥りがちな低栄養を予防するため、積極的な栄養管理でサポートします。



訪問エリア

当院を中心に半径約4km圏内

世田谷区／大田区／目黒区／宮前区／中原区

※エリア外でも訪問可能な場合がありますので、お気軽にご相談ください。

外来診療科のご案内



てんかん外来

てんかん専門医がてんかん発作の症状を正しく診断し、適切な薬を用いて治療を行います。当院では内服治療に加えて迷走神経刺激療法のフォローアップも行っています。

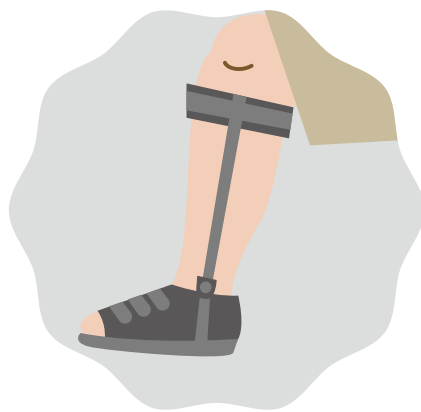


自動車運転再開支援

患者さんの社会参加を促進する支援の一つとして、事故や病気により身体機能や認知機能に障害を持った方に対して、自動車運転の再開支援を行っています。当院で診察やドライビングシミュレーターなどを活用した訓練を受けることで、運転免許センターで行う臨時適性検査に備えることができます。

装具外来

リハビリテーション科専門医やリハビリスタッフが患者さんの身体機能を評価し、適切な補装具を処方します。補装具に関してお困りのことがあれば、お気軽にご相談ください。

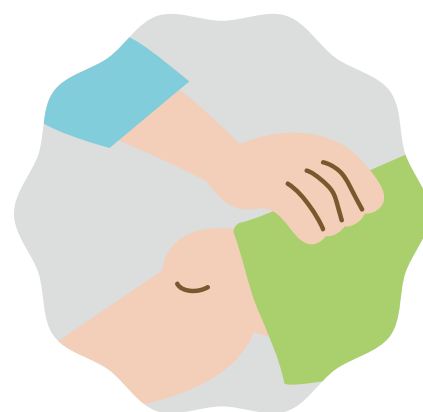


痙縮外来

脳卒中などの後遺症としてお悩みの方が多い痙縮を専門に診ます。治療としては、電気で筋肉を刺激しながらボツリヌス毒素を注射するボツリヌス療法を行います。約1週間で治療の効果が現れ、3～6か月ほどその効果が持続します。手や足の突っ張りを改善している間に、リハビリテーションで関節の動きに対してもアプローチします。



まずは
かかりつけ医に
相談しよう！



リハビリテーション外来

リハビリテーションの国家資格を有した療法士が、運動機能や言語・嚥下面での評価と治療を行います。体が動きにくい、関節が痛い、在宅生活で困っていることがある、話すことや食べることに関するリハビリテーションを受けたいなど、さまざまなお悩みについての助言や個別プログラムの提供をしています。

※ 休診日：日曜祝日・年末年始
※ リハビリテーション外来以外は予約制となります。
※ くわしくはWebサイトの外来診療担当表をご確認ください。
※ 担当医師は都合により変更・休診となる場合があります。

診療日・診療時間

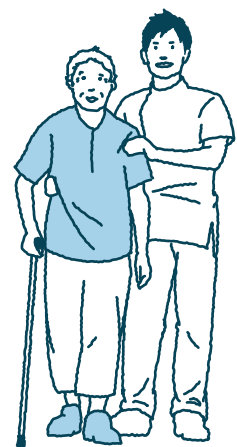
てんかん外来：水・土曜 9:00～12:00
装具外来：火曜 13:30～16:00

自動車運転再開支援：水曜 13:30～16:00

痙縮外来：水曜 13:30～16:00

リハビリテーション外来：水・木・土曜 9:00～12:00

当院の 取り組み



合併症を防ぐ 離床の取り組み

入院生活で過度に安静な状態が続くと、身体能力の大幅な低下や、精神状態に悪影響を引き起こす「廃用症候群」を招くことがあります。当院ではこの予防のため、芸術療法や園芸療法など楽しみを目的とする離床や生活に直結する目的のある離床など、徹底した取り組みを行います。目的を持って離床を行うことは、運動機能や認知機能低下の予防と共に、回復への最大の近道となります。



園芸療法



芸術療法



ドッグセラピー

毎日の食事へのこだわり

適切な栄養がなければ治療もリハビリテーションも進みません。当院では食事もケアの一部と捉え、旬の食材を生かした行事食や週1回の郷土料理・世界の料理など多彩な献立を365日異なる内容で提供しています。患者さん一人ひとりの状態に合わせてエネルギー量や食形態を調整し、毎日の食事が楽しみとなるよう支えています。



先進的なリハビリ機器

先進的なリハビリ機器を積極的に導入し、患者さんの「治したい」という気持ちに応えるリハビリテーションを提供しています。BMI(Brain Machine Interface)やウェルウォークなどの機器を活用し、重度麻痺や下肢麻痺の患者さんの機能回復や歩行訓練をサポートします。また、患者さんの意思を尊重しながら目標を設定し、退院後の生活を見据えたリハビリテーションを実施しています。



ウェルウォーク



BMI

職員みんなで退院支援

リハビリテーションの効果を最大限に引き出すため、医師、看護部、介護部、栄養部など、さまざまな専門職と強力なチームを形成し、全力で在宅復帰を支援します。また、退院の際はソーシャルワーカーやケアマネジャーと協力し、さまざまな制度や施設、機関などといった社会資源の活用や、介護福祉サービスについて情報提供およびご提案をします。



24時間365日 リハビリテーション

昼間以外の時間もリハビリテーションを提供します。退院後の生活環境や介助方法を検討するうえでも夜間の状況把握は大切となるため、当院では夜間の動作にもアプローチしています。特に夜間のトイレ動作や移動は転倒などのリスクも高く、介助に入ることによってリスク回避や機能向上につなげています。



トイレの不安解消を サポート

尿意・便意の回復とトイレ動作の獲得は、在宅復帰における最重要課題の一つです。自らの意志で、自らトイレで排泄を行う。健康な時であれば当たり前であった行為を取り戻すため、入院直後から早期の排泄自立を徹底して意識し、一人ひとりに合わせたリハビリプログラムを実践します。



口から食べるをサポート

高齢者は疾病などで状態が悪化すると、嚥下^{えんげ}(飲み込み)機能が低下し、疾病は治癒したものの、食事ができないために、ご自宅への復帰がかなわないこともあります。これは、医学的リスクだけでなく、食の楽しみを奪い、QOL(生活の質)の低下も招く大きな問題です。その予防のため、言語聴覚士を中心に、入院後早期から嚥下機能を評価し、適切な食事とリハビリテーションで、機能訓練を行います。



自分でできる リハビリテーション

個別・集団のリハビリテーション以外の時間も有効に活用していただくため、一人ひとりに応じたホームワーク(自主的練習)を提案しています。患者さんが高いモチベーションでリハビリテーションに取り組むことは退院への近道となるため、積極性を促すような訓練を提案します。

世田谷記念病院の
リハビリテーション
への向き合い方

専門性の高い リハビリテーション

病院での治療が終わり、抱えていた病気が治れば患者さんはすぐに元の生活に戻れるのでしょうか。長い療養や治療の末に、その人らしい生活が奪われてしまえば、本当に「治った」とは言えないのではないのでしょうか。

当院では、その人らしい生活を取り戻すため、リハビリテーションに力を入れています。リハビリテーションによって一人でも多くの方が自分らしい生活を取り戻せるように、私たちは取り組み続けます。



自分らしく 生きるための リハビリテーション

リハビリテーションを必要としない患者さんは存在しません。それなのに、回復期リハビリテーション病棟でリハビリテーションができる対象疾患は限られています。私たちは、疾患など関係なく、すべての患者さんを受け入れ、リハビリテーションを施すために、回復期リハビリテーション病棟以外の病棟も備えています。それが、私たちが自らをリハビリテーション病院と名乗らない理由です。限られた疾患の患者さんだけでなく、リハビリテーションを必要としているすべての人を支えたい。という想いが、私たちの掲げる「絶対に見捨てない。」医療につながっています。

その人に合った リハビリテーション

私たちのリハビリテーションのスタートラインは、その人に一番最適なりハビリテーションを提案するところから始まります。そのためには、患者さんの病状や心身状態を的確に把握することが大切です。当院ではリハビリテーションへのアプローチとして、InBody（体成分分析装置）を使用しています。その人の筋肉量・脂肪量・水分量を分析し、体の状態に合ったリハビリテーションを提供できるよう努めています。また、歩行練習のサポートとして、ロボット技術や電気刺激を用いた各種歩行訓練機器を導入することで、これまで歩行が困難だった方のリハビリテーションも可能になりました。

自宅に帰る ための リハビリ テーション

リハビリテーションに取り組む患者さんの一番の望みは、病気になる前のように「自分のいつもの暮らしを自分自身で行うこと」ではないでしょうか。私たちはその願いを真摯に受け止め、特に排泄・嚥下リハビリや、ADL（日常生活動作）の改善に力を入れています。一人ひとりに必要な生活動作の回復を集中的にサポートしています。

自宅へ戻った 後も続く リハビリテーション

実際にご自宅へ戻られてから、新たな問題点や不安な点が生まれた場合も、私たちにご相談ください。患者さんが安全で安心できる在宅生活を送れるように、退院後も外来リハビリや訪問リハビリを続けられるサービスがあります。その際も、患者さんの入院中の情報を共有しているので、在宅復帰後も最適なりハビリテーションをスムーズに受けることができます。



病院の都合ではない 患者中心の診療方針を徹底

せっかく自宅に戻っても、一人でできることが少ないと生活するのはとても大変。入院中からしっかり準備することが、在宅復帰の鍵になります。入院時によくある慣習には、在宅復帰の妨げになるものも多いため、私たちはこれらの慣習を取り払い、高齢者の在宅復帰をサポートしています。

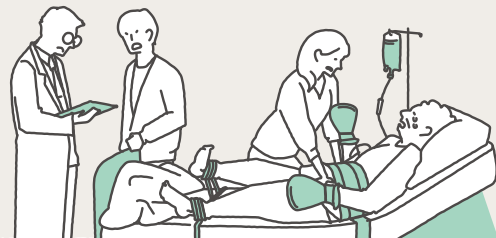
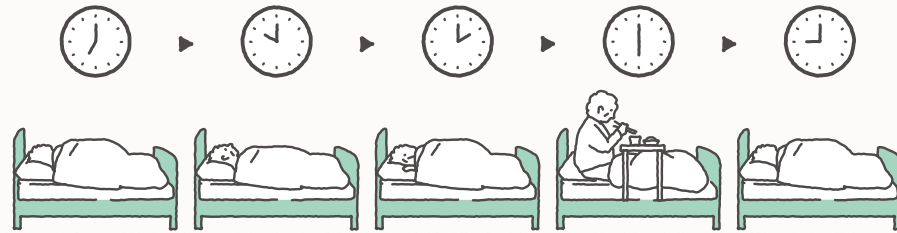


デジタル情報は、

医療界にはびこるBADポイント

廃用症候群につながる

「不必要な安静」。



それは本当に

患者さんのために必要な「抑制」?

病気を治すのは医療が中心で、

食事は「おまけ」?



在宅復帰を遅らせる、

「口から食べる」を考えもしない医療。

「自分でトイレ」を遠ざける、

「なんとなくそのまま」な排泄ケア。

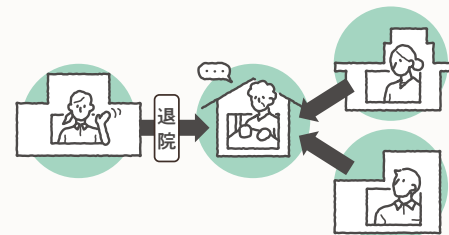


症状の数だけどんどん増えるお薬。

リスクにもなる多剤服用。

退院後の生活に

病院はノータッチ?



ダメでしょう勝手に歩いちゃ

どこ行くんですか。危ないですよ



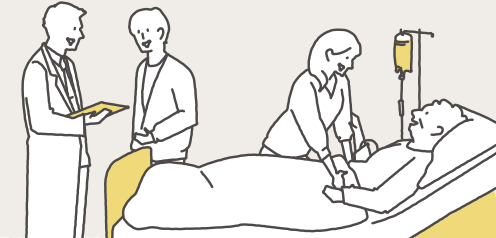
認知症の方を人として

尊重しない、理解しようとしらない。

当院が取り組むGOODポイント

「楽しく、目的のある離床」で、

心身機能の低下を防ぎます。



「抑制しない工夫」が

患者さんのためになるのです。

病気を治すには、

「きちんとした食事」が必須です。

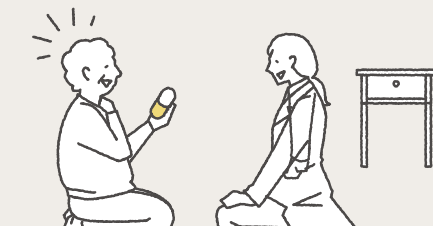


適切な評価とリハビリテーションで、

「口から食べる」をサポートします。

排泄リハビリをしっかり行うことで、

在宅復帰につなげます。

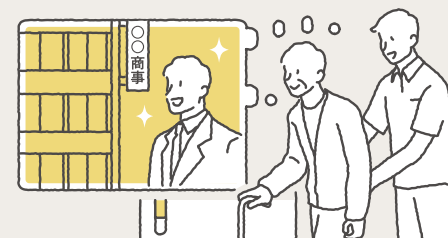
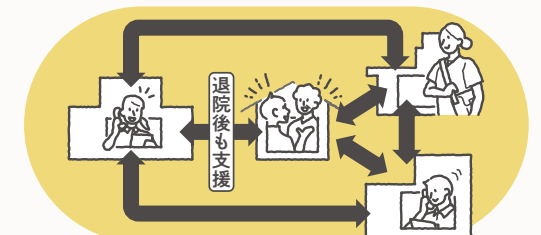


入院を機に処方薬を見直し

本当に必要なお薬だけに。

退院後も継続した在宅サービスを

受けられるから安心。



どちらに行かれるんですか?
ああ、会社ですか。
じゃあ途中で一緒に行きましょうか

認知症の正しい知識を持ち、

適切なケアを行います。

入院のお申し込み

24時間365日体制で受け入れる、安心できる診療を提供します。

病院からのご紹介



在宅主治医・施設からのご紹介



レスパイト入院について

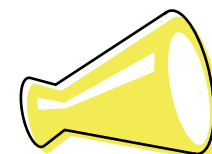
在宅療養中で、常時医療管理の必要な方が、ご家族(介護者)の事情(冠婚葬祭、旅行、病気、介護疲れなど)により在宅介護が一時的に困難になった場合に、当院で短期入院をすることができます。

利用可能な方

- 介護保険によるショートステイが困難で、医療的管理が必要な方
- 神経難病の方、人工呼吸器を装着された方
- 胃ろうなど経管栄養の方
- 自力歩行や排泄が困難な方

ご利用の流れ

レスパイト入院について、まずはお電話でお問い合わせください。
なお、レスパイト入院は空きベッドを利用して行います。
必ずしもご希望に添えない場合がありますので、あらかじめご了承ください。



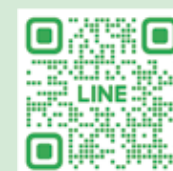
世田谷記念病院

広報からのお知らせ



毎月逃さず
読めます！

当院の公式
LINEはこちら▶



- ✓ 病院からの最新のお知らせ
- ✓ がんばれ！広報ちゃん

などのコンテンツを月1回配信中。
ぜひ友達追加してご覧ください！



医療法人 平成博愛会

世田谷記念病院

SETAGAYA MEMORIAL HOSPITAL

■受付時間 9:00~17:00

■休 診 日 日曜祝日・年末年始

〒158-0092 東京都世田谷区野毛2丁目30-10

総合受付

☎ 03-3703-5100

info@setagayahp.jp / setagayahp.jp